

病害虫発生予察注意報について

みだしのことについて、注意報第 4 号を発表したので送付します。
平成 17 年度病害虫発生予察注意報第 4 号

- 1 病害虫名 モザイク病
- 2 発生地域 沖縄本島、宮古島、石垣島
- 3 作物名 かぼちゃ
- 4 発生程度 (沖縄本島)多、 (宮古島)やや多、 (石垣島)やや多
- 5 注意報発令の根拠

(1) 沖縄本島

1 月下旬の調査の結果、発病株率は 4.6 % (前年 3.0 %、平年 1.1 %) と平年より高かった。また発生圃場率は 60 % であった。

アブラムシ類の葉あたり虫数は 1.5 頭 (前年 0.4 頭、平年 0.5 頭) と平年よりやや多かった。

(2) 宮古島

1 月中・下旬の調査の結果、発病株率は 1.2 % (前年 3.6 %、例年 2.8 %) と例年よりやや低かったが、一部圃場で発病株率が 50 % を越える多発生が見られた。また発生圃場率は 56 % であった。

アブラムシ類の葉あたり虫数は 15.8 頭 (昨年 0.6 頭、一昨年 0.9 頭) と多かった。

(3) 石垣島

1 月中旬の調査の結果、発病株率は 8.0 % (前年 1.0 %、平年 7.9 %) と平年並であったが、沖縄本島、宮古島と比べて高い値で推移している。また発生圃場率は 80 % であった。

アブラムシ類の葉あたり虫数は 1.4 頭 (前年 0.8 頭、平年 1.0 頭) と平年並であった。

(4) 気象予報では 2 月の気温は高くなる見込みで、本病の媒介虫であるアブラムシ類の増加に注意が必要である。



6 防除上注意すべき事項

本病はアブラムシ類によって媒介され、汁液によっても伝染するので防除にあたっては以下の点に注意する。

(1) アブラムシ類の防除

ほ場周辺の雑草はアブラムシ類の発生源になるので除草を行う。

シルバーポリテープを畦上に張り出したり、畝間に防風対策を兼ねたソルゴーなど障壁作物を植え付けるか、防虫ネット等の資材を利用して有翅虫の飛来侵入を防ぐ。

早期発見・早期防除に努める。

(2) 発病株の処理と収穫管理作業における伝染防止

発病株は発生源となるので、抜き取ってほ場外に持ち出し、ビニール袋等に入れるなどし密閉処理する。やむを得ず発病株を残す場合は、収穫管理作業を最後に行うとともに、アブラムシ類の発生に注意し、早期防除を行う。

本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒、洗浄を行う。

収穫後の残渣は発生源となるので速やかに片づける。